

事務事業名	アーカイブズ保存活用事業				会計	一般会計		事業種別	政策	開始	16	終了	
H27担当課等名	歴史研究所		H27係等名	総務係		H26係等名		総務係					
基本計画上の位置づけ	政策	6	地域の自然・歴史・文化を活かし続けるまちづくり										
	施策	63	地域資産の保存・継承										
目的	対象(誰・何を)	・史資料(飯田・下伊那地域の歴史資料)						対象指標	指標名及び単位		26年度数値		
	意図(どういう状態にするか)	・失われる史資料を収集し、保存・公開できる体制を整え、時代を受け継いでいく市民共有の歴史的財産へと変える。							保存した旧役場文書や学校などの公的機関の資料数		1000		
	向上させたい上位施策の成果指標	保存・継承されている地域資産の数(累計)							毎年度発生する非現用文書件数(単年度)		461		
目標	種別	指標名及び単位				26年度計画	26年度実績	27年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)			
	成果指標	旧役場文書や学校などの公的機関の歴史資料の保存(旧上村・南信濃村等非現用文書を含む)				1000	3080	500	500	指標変更			
	成果指標	保存した非現用文書件数(フォルダー数)(単年度)				500	461	500	500				
定性目標													
事業概要	<p>・地域に残る歴史資料は、地域に生きる市民にとってかけがえのない文化財産である。歴史資料(アーカイブズ)の多くは、現在滅失の危機にあり、これらの地域遺産を調査・収集・整理・保存・公開し、飯田の魅力のひとつとして大切に守り、市民や研究者が史料を積極的に活用できる環境を整え、未来への貴重な財産として大切に保存継承していく。</p> <p>・当面はこれまで実施してきた概要調査、現状記録調査、採集調査、聞き取り、また市役所非現用文書・旧役場文書の保存などの業務に継続的に取り組み、得られた史料や情報の保存・公開・活用にむけて、体系的なシステムの構築と、文書保存や閲覧利用の充実に図り、「地域アーカイブズ事業の拠点」としての役割を果たせるような取り組みを行う。</p>												
26年度事業内容	事業内容					名称			活動指標				
	1 旧役場文書や学校などの公的機関の歴史資料の保存・公開・活用 (1)旧上郷村等役場文書の整理 (2)学校史料					1 (1)整理・保存件数 (2)資料調査回数			1 (1)3080件 (2)4回				
	2 市役所の非現用文書の移管・整理・保存 (1)市役所の非現用文書の整理・保存(現在保管をしている文書) (2)市役所の非現用文書の整理・保存(26年度移管分)					2 (1)整理・保存件数 (2)整理・保存件数			2 (1)9739件 (2)461件				
	3 私文書の保存・継承の支援					3 保存・継承支援数			3 43回				
	4 調査・整理後、公開された史料					4 公開件数			4 14件				
	5 他団体などの事例の情報収集					5 情報収集回数			5 5回				
	6 史料公開のガイドライン検討(行政文書、学校史料など)					6 ガイドライン検討数			6 1件				
事業コスト		25年度決算額	26年度予算額	26年度決算額	27年度予算額	特定財源内訳、補足							
事業費計(千円)①		0	0	0	0								
国庫支出金													
県支出金													
起債													
その他													
一般財源													
人件費計(千円)②		3,576		3,576									
正規職員所要時間		1,000		1,000									
臨時職員所要時間													
総事業費①+②		3,576	0	3,576	0								
事業内容・目標達成状況の振り返り	<p>・座光寺地区の団体と協働で、月2回の史料調査・整理を行い、私文書の保存・継承を実施している。(平成24年度から実施)</p> <p>・保存継承困難な私文書や非現用公文書などの保管場所と保存処理経費の確保が困難な状況にある。</p>												
改革改善の考え方	①問題点	地域アーカイブズ事業の拠点としての役割を果たす取り組みが必要であるが、スタッフや予算等の問題から持ち込まれる資料は、最低限の作業に留まり調査研究の段階までに至らないケースが多い。											
	②改革提案	公文書館法等の機能に基づいた事業体制の確立を目指す。 私文書、公的機関の歴史文書、行政非現用文書等に関する史料公開のガイドライン策定とアーキビストの育成。											